

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年10月10日 (第2回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大分県由布市 (442135)
地域名 (地域内農業集落名)	塚原 (塚原)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	30.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	30.2 ha
② 田の面積	25.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	3.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	16.9 ha
(参考) 区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	1.3 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.0 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

## (2) 地域農業の現状及び課題

本地域は振興山村に指定されるなど、平地の地域と比べ生産条件の格差が大きい。また20年ほど前から中山間特有の鳥獣被害も拡大、農業者も高齢化が進み、農業者並びに耕作地の減少や耕作放棄地増加の波に覆われている。しかし20年前は水路や耕作地の管理が行われ、良質な作物を収穫でき、多くの農業者がいた。今後、地域の課題に向き合い、新規農業者の獲得や農業振興の計画並びに耕作放棄地を減らす活動を行っていく。

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

塚原地区は耕作地の条件として、冬は雪が降るほど寒く、高地での特徴を生かした取組を行う必要があると考えている。また、夏は高地特有の「害虫が少なく」といった環境を生かし、防虫などの農薬等の減農薬等の取組や一部のエリアで行われている有機農業などを取り入れブランド化等することが、耕作放棄地の減少に繋がると思われる。その他、米以外の作物、例えばネギなどの新たな取組を行うことで、新規就農者の獲得や耕作地の減少が抑えられる。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
色々な活動を通し地権者と耕作者のコミュニケーションを図り、農地の保全に努める。					
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	37	%	将来の目標とする集積率	0	%
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標					
新規就農者や若い農業者へ集約することを目標にする。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地バンクを通じ、担い手を中心に集積・集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
原則として、地域の農地所有者が農業をリタイアする場合は、中間管理機構に貸し付ける。
(3)基盤整備事業への取組
現在行っていない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
多面的機能などの活動を通じ、若手の育成及び情報の共有を積極的に行い、新規就農者の受け入れ等を行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
由布市内の集落営農法人が連携して設立した株式会社ゆふ農業サポートと連携し、作業委託やドローンを活用した事業の取組を集落内でも進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

①防護柵設置による鳥獣被害の防止。  
②高地と湯布院といった観光地ブランドを利用した有機や減農薬栽培。  
⑦耕作放棄地の保全や管理を行い、新規農業者の農地として利用しやすいようにする。  
⑨米や収穫できた作物の6次産業化を行い農作物や加工品の販売。

## 4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

※経営面積 0ha = 0.1ha未満の担い手

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稲、野菜等	0.7 ha	— ha	水稲、野菜等	1.6 ha	— ha	1	
利用者		水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	2	
利用者		水稲、野菜等	2.1 ha	— ha	水稲、野菜等	2.8 ha	— ha	3	
利用者		水稲、野菜等	0 ha	— ha	水稲、野菜等	0 ha	— ha	4	
利用者		水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	5	
利用者		水稲、野菜等	0.5 ha	— ha	水稲、野菜等	0.5 ha	— ha	6	
利用者		水稲、野菜等	1 ha	— ha	水稲、野菜等	1 ha	— ha	7	
利用者		水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	8	
利用者		水稲、野菜等	0.9 ha	— ha	水稲、野菜等	0.9 ha	— ha	9	
利用者		水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	10	
利用者		水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	11	
利用者		水稲、野菜等	0.5 ha	— ha	水稲、野菜等	0.5 ha	— ha	12	
利用者		水稲、野菜等	1 ha	— ha	水稲、野菜等	1 ha	— ha	13	
利用者		水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	14	
利用者		—	— ha	— ha	水稲、野菜等	1.2 ha	— ha	15	
利用者		—	— ha	— ha	水稲、野菜等	0.2 ha	— ha	16	
利用者		水稲、野菜等	0.5 ha	— ha	水稲、野菜等	0.5 ha	— ha	17	
利用者		水稲、野菜等	0 ha	— ha	水稲、野菜等	0 ha	— ha	18	
利用者		水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	水稲、野菜等	0.4 ha	— ha	19	
利用者		水稲、野菜等	2.8 ha	— ha	水稲、野菜等	2.8 ha	— ha	20	
利用者		水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	21	
利用者		水稲、野菜等	0 ha	— ha	水稲、野菜等	0 ha	— ha	22	
利用者		水稲、野菜等	1 ha	— ha	水稲、野菜等	12.8 ha	— ha	23	
認農		水稲、野菜等	11.2 ha	— ha	水稲、野菜等	0.1 ha	— ha	24	
利用者		水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	水稲、野菜等	0.3 ha	— ha	25	
利用者		水稲、野菜等	0.9 ha	— ha	水稲、野菜等	0.9 ha	— ha	26	
計	26経営体		24.8 ha	0 ha		28.6 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。  
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。  
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。